



厚生労働省福島労働局発表  
平成28年8月4日(木)

担	【照会先】
課	福島労働局職業安定部職業安定課
課	長 菊 田 稔
当	課 長 補 佐 秋 元 初 雄
	地方職業安定監察官 岩 見 竹 志
	TEL 024(529)5578 FAX 024(536)4200

## ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価に係る 平成27年度総合評価の結果

福島労働局（局長 島浦幸夫）は、ハローワークの求人・求職のマッチング機能の一層の強化を図るため、平成27年度に実施した総合評価の結果についてとりまとめました。

全国のハローワークにおいては、従来からPDCAサイクルによる目標管理を行い、業務改善を進めてきましたが、平成27年度からこれを抜本的に拡充し、①従来の目標管理・業務改善の拡充、②マッチング機能に関する業務の総合評価、③評価結果等に基づく全国的な業務改善を行い、更なるマッチング機能強化を図ることとしました。（別添1、2参照）

このため、総合評価では、労働市場の状況や業務量、体制が同じような全国のハローワークでグループを作り、その中で比較・評価を行うもので、年度当初にマッチング機能に関する数値目標を設定し、翌年度に業務の評価・改善を行うものであります。

今般、平成27年度の評価結果が下記のとおりまとめましたので、各ハローワークの就職支援業務報告と併せて公表いたします。

### 記

#### 総合評価の結果

① 「良好な成果」（評価類型2）

福島所、平所、会津若松所、須賀川所、相双所、二本松所

② 「標準的な成果」（評価類型3）

郡山所、白河所

#### 参考

評価類型1：非常に良好な成果

評価類型2：良好な成果

評価類型3：標準的な成果

評価類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

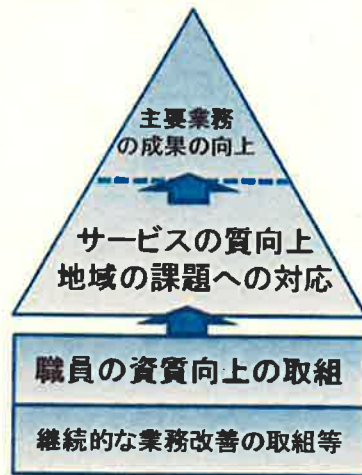
# ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

別添1

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

## PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り  
就職支援を強化

## ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表  
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。  
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## 評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
- ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
  - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
  - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）  
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催



# 総合評価の構成

別添2

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

## 総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

### 全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

#### (1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

#### (2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率
- 求人に対する紹介率
- 求職者に対する紹介率

### ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

#### (1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

#### (2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

## 平成27年度ハローワークのマッチング機能に関する業務実績

### 【マッチング機能に関する中核的な指標】(主要指標)

	労働局計	福島	平	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松
就職件数 (常用)	34,412件	6,371件	6,666件	5,806件	6,343件	2,477件	2,681件	2,378件	1,690件
充足件数 (常用)	33,603件	6,460件	6,321件	5,377件	6,533件	2,290件	2,330件	2,623件	1,669件
雇用保険受給者の早期再就職件数	8,576件	1,502件	1,842件	1,135件	1,724件	521件	756件	566件	530件

※就職件数 ハローワークの紹介により常用就職した件数

充足件数 ハローワークの常用求人(受理地ベース)の充足件数

雇用保険受給者の早期再就職件数 雇用保険基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して就職した件数

## ハローワーク福島 就職支援業務報告（平成 27 年度）

### 1 所長による分析（業務運営の総括）

#### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標である、就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、重点的に進めることとし、各部門・コーナーでの就職支援セミナー、ミニ面接会、求人充足会議の開催などの取組を行いました。

特に、所独自の就職支援セミナーでは、受講対象者が雇用保険受給者、子育てママ、介護希望者、45歳未満求職者、障害者と幅広く実施しており、開催回数は222回、受講者数は1,282名（定員1,337名：受講率95.9%）を数え、受講者アンケートからも人気があり好評を得ているところです。

また、事業所訪問の際には事業所画像の収集に努め、求人検索パソコンへの取込で画像情報の提供を行っており、この取組については、利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かる。」などの評価をいただいています。

#### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者の声に基づき、総合受付での障害者相談窓口に係る受付方法の見直しを実施しました。

また、求人申込みと助成金の窓口（1F→3F）と、職業訓練相談と住居生活相談の窓口（3F→1F）の入替えによる大幅なレイアウトの見直しを実施し、事業所及び求職者サービスのワンフロア集中を図りました。

#### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者に対し、再就職に向けてのハローワークの有効活用方法や仕事探し準備等の説明を行う初回講習については、現在、雇用保険の手続きに関する初回説明会との併催により行っているため、20分枠で実施しているが、内容が多岐に渡っており、利用者からすれば消化不良となっている面があると考えられます。このため、平成28年度には、雇用保険受給者の早期再就職件数の増加に結び付けるため、初回講習の内容充実による単独開催の実施を目指します。

また、ミニ面接会は22回開催（目標20回）しましたが、就職件数は9人（目標20人）でした。求職者への呼びかけは行うものの、参加者が少なく、必ずしも就職に結び付いていない現状にあるため、事業所の選定方式等に係る見直しを検討します。



(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、正社員求人確保で目標の 14,460 人に対し、結果は、14,321 人（進捗率 99.0%）に終わりました。平成 28 年度は所の重点指標として、新たに正社員就職件数も導入したところであり、正社員求人数と並行して、できる限りの目標到達に向け各種取組を実施します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター 正社員就職	フリーター等 の正規雇用 就職件数	マザーズ HW事業 就職率	正社員 求人数	建設分野 就職件数
実績	6,371	6,460	1,502	93.5%	95.4%	28.0%	125	285	1,405	1,117	90.9%	14,321	443
目標	6,814	6,877	1,563	90.0%	90.0%	26.7%	132	303	1,068	1,119	87.5%	14,460	448
目標達成率	93.5%	93.9%	96.1%	103.9%	106.0%	104.9%	94.7%	94.1%	131.6%	99.8%	103.9%	99.0%	98.9%
(参考)過去3年度平均	6,929	7,108	1,438	-	-	26.7%	-	-	-	-	-	-	-

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク平 就職支援業務報告（平成 27 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、受理した求人の早期充足を目的に実施している「求人連絡会」や「未充足求人フォローアップ会」において選定した求人に対して、担当制によりマッチングからフォローアップまで行う中で、求職者の来所勧奨による紹介を推進し早期充足に努めました。

ハローワーク職員による能動的マッチングや各種支援を推進するため、採用可能性の見立てによる相談・紹介能力の向上を目指す取組みを「紹介スキル向上！作戦」として実施しました。

また、人材確保のため、人手不足分野（建設、介護、保育等）を対象としたミニ面接会を定期的で開催しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、「見やすいポスター掲示」「わかりやすい陳列」に係る項目において利用者より不十分であると評価されたことから、「所内掲示及びパンフレットスタンド利用における確認事項」を作成し、所内掲示・展示を行うなどの業務改善を行いました。

また、職業相談までの待ち時間を短くするため、職員が利用者の待ち時間の把握とその進捗管理ができるよう業務の改善を行いました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足サービスを重点的に推進することで、求人者サービスのみならず、求職者に対する能動的マッチングの充実を図ります。

また、わかりやすい求人票の作成に努めるとともに、事業所の画像情報を求人情報検索機や所内掲示するなど事業所情報の収集について積極的に取り組みます。

さらに、職員のスキルや利用者へのサービス向上をめざして職員研修の充実を図っていきます。

### （4）その他業務運営についての分析等

東日本大震災以降、復興需要などにより求人数が高水準で推移し、求職者数も少子高齢化や雇用改善による就職の進展で減少しており、人手不足の状況が続いています。

このため、管内の自治体からの要望も踏まえ、関係機関などと連携を図りながら若年労働力の確保、中小企業人材確保、正規労働者の雇用拡大などの雇用対策を実施していくことが重要ととらえています。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者の就職 件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワー クの紹介に より正規雇 用に結びつ いたフリータ 一等の件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	正社員就職 件数	建設分野の 就職件数
実績	6,666	6,321	1,842	95.3%	94.0%	33.6%	205	252	439	936	86.1%	3,812	434
目標	7,242	6,873	1,693	90.0%	90.0%	31.3%	116	244	349	894	87.5%	3,952	501
目標達成率	92.0%	92.0%	108.8%	105.9%	104.4%	107.3%	176.7%	103.3%	125.8%	104.7%	98.4%	96.5%	86.6%
(参考)過去3年度平均	7,269	7,015	1,515	-	-	31.3%	-	-	-	-	-	-	-

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク会津若松 就職支援業務報告（平成 27 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職率の向上と求人充足の促進には職業紹介担当者の紹介スキル向上が最重要であると考え、職業相談技法研修を3回、職業紹介にかかる事例研究会を10回開催しました。これらの取組により、求職者担当者制の就職率が75.1%となるなど、職業紹介担当者の全体的なレベル向上を図ることができたと考えています。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所の利用者満足度調査においては、求職者が100.0%、求人者が97.0%と高水準の結果でした。しかしながら利用者アンケートで、ご意見箱の表示及び所内レイアウト表示が分かりにくいという声や、プライバシーパーテーションが十分でないという声が寄せられたところです。

ご意見箱については既に表示方法を分かりやすく改善いたしました。また、所内レイアウト表示とプライバシーパーテーションについては、業務検討委員会で望ましい改善策について検討を行い対応することとしています。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野や正社員求人のさらなる充足促進、正社員就職の促進に向け、平成28年度においてもミニ面接会を積極的に開催していく予定です。また、引き続き職業紹介担当者のスキル向上に向け、キャリアコンサルティング技能士資格を取得した職員を活用した研修を開催することを検討しています。

### （4）その他業務運営についての分析等

当所管内の求人倍率は、平成27年度累計では1.26倍と一定水準を確保しておりますが、正社員求人倍率は0.69倍にとどまっています。

今後は、正社員求人の確保と既に申し込まれている非正社員求人について正社員求人への変更を働きかけ、充足促進の取組を行います。

なお、求人については求職者の目に触れやすいよう、ピックアップ求人コーナー（正社員求人）、グレードアップ求人コーナー（条件緩和見直し）、事業所画像情報との掲示等、特出しをさらに充実していきます。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 就職件数	障害者 就職件数	正規雇用 フリーター 就職件数	マザーズ 就職率	正社員 就職件数		
実績	5,806	5,377	1,135	97.0%	100.0%	35.0%	195	186	674	93.5%	2,491		
目標	5,983	5,589	1,074	90.0%	90.0%	30.2%	115	179	670	87.5%	2,634		
目標達成率	97.0%	96.2%	105.7%	107.8%	111.1%	115.9%	169.6%	103.9%	100.6%	106.9%	94.6%		
(参考)過去3年度平均	6,400	7,158	1,132	-	-	30.2%	-	-	-	-	-		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク郡山 就職支援業務報告（平成 27 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、正社員を目指す 45 歳未満の求職者を対象とした「わかもの支援コーナー」で、求職者担当制（予約制）により、きめ細かな職業相談、応募書類添削、面接準備支援等の個別支援を実施した結果、就職者 798 人（支援終了者に対する就職率 72.2%）を達成することができました。（就職率目標 66% 就職支援ナビゲーター4名）

また、平成 25 年度に郡山市役所福祉事務所に開設した「ハローワークコーナー」では、郡山市とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等に対する一体的な就労支援により、支援を行った 295 名中、160 名が就職し、自立を支援することができました。

（担当ナビゲーター2名）

求人受理に際しては、魅力ある求人票づくりのため、年間 230 件の画像収集に取組み、求人検索システムへ掲載するとともに、庁舎外掲示板に張り出す等、求職者が応募求人の選定におけるサービス向上に努めました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

応募書類作成支援にあたり、「再就職セミナー」（労働局主催）、「就職塾」（郡山所主催）の 2 つの就職支援セミナーを設定していましたが、定員を上回る申込みがあったことから、より多くの求職者の方を支援し、早期再就職が可能となるよう、平成 27 年 7 月より「応募書類添削コーナー」を開設しました。（完全予約制で週 3 日、月・水・金の 1 日 3 コマ、1 コマ 1 時間程度）

また、他所の好事例を参考に、雇用保険失業給付の受給手続き後の早い段階で、ハローワークが提供可能な支援メニューを詳細に紹介できるよう、本年 2 月より初回講習会を雇用保険受給者説明会と分離して、開催することとしました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

職業紹介のマッチング力を強化するには、当所の「わかもの支援コーナー」「早期就職支援コーナー」で実施している求職者担当制が有効であり、所内全体で取り組むことが効果的と考えています。このため、職業紹介業務担当職員に対し、この取組み内容の研修を実施後の本年 8 月を目途に開始する予定です。

また、求人充足を向上させる対策として以下の 2 点について実施します。

- ① 求職者へ求人選択の一助となるよう、事業所で働いている社員の生の声を「ハローワーク突撃インタビュー」と称して収集し、画像情報とともに求職者へ求人検索システム上や掲示板等へ貼り出し提供を行います。



② 求職者から見た「魅力ある求人票」を求人事業主が作成できる支援策の一環として、求職者 350 人を目標に、求職者が一番見ている求人票のポイント等を「求職者アンケート」として実施しました。この調査結果を基に資料を作成のうえ求人者へ提案して求人充足に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

障害者のマッチングについては、障害者雇用率未達成企業に対する雇用率達成指導担当と障害者紹介担当との連携に工夫をする必要があるため、今後の雇用率達成指導訪問の際は、紹介部門担当者も同行し、事業所のニーズにあった求人の開拓と求人者ニーズに即応したマッチングに取り組めます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職促進	障害者の就 職件数	学卒ジョブ サポータの 支援による 正社員就職 件数	HW の紹介 により正規 雇用に関結 付いたフリ ーター等の 件数	マザーズ HW の担当 者制による 就職支援を 受けた重点 支援対象者 の就職率	正社員就職 件数	建設分野の 就職検す
実績	6,343	6,533	1,724	97.6%	97.4%	22.5%	280	215	1,376	1,186	86.5%	3,471	385
目標	7,158	7,290	1,857	90.0%	90.0%	23.4%	226	238	1,068	1,006	87.5%	3,970	547
目標達成率	88.6%	89.6%	92.8%	108.4%	108.2%	96.2%	123.9%	90.3%	128.8%	117.9%	98.9%	87.4%	70.4%
(参考)過去3年度平均	7,325	7,518	1,723	-	-	23.4%	-	-	-	-	-	-	-

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク白河 就職支援業務報告（平成 27 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特にマッチングを重点的に進めることとし、マッチング求人の情報提供や求職者担当者制の実施などの取組を行いました。

特に求人の情報提供は、週単位で1人当たりの目標件数6件とし、就職に結び付くよう積極的に行った結果、目標の2,400件を上回り3,409件の結果となりました。就職率が33%（平成26年度は29.6%）となり一定の効果が見られましたが、就職件数の目標190件以上に対し148件に留まり、目標を達成することが出来ませんでした。

平成28年度からは、マッチング求人の選定方法において、求職者が希望する職種の多い求人に重点をおいてマッチングを行い、マッチングの精度を高めるとともに、より早期の求人充足を図り、就職件数の増加に繋げることにします。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者から「待ち順番が前後した」、「後どれ位待つのか」といった問い合わせが多く、また、個人情報保護の観点からも氏名ではなく番号で呼ばれることを希望する者も多かったため、ボイスコールを導入し順番待ちの明示並びに混雑状況の周知、番号呼び出しによるプライバシーの保護などの改善を行いました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者担当者制の実施については、目標24人に対し20人の利用者に止まったことから、利用勧奨の方法について再検討することとし、より積極的に取り組むことで多くの方に利用頂けるよう改善を図ることとします。

具体的には、アプローチの仕方として、求人情報提供から実施し、それを契機として求職者担当者制の利用勧奨に繋げることにし、この取組により利用者の増加に繋げる見込です。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成27年度当初は、過去に正社員求人を募集していない事業所を中心に求人開拓を実施し、年度途中からは過去に正社員求人の募集を行った事業所に対し求人開拓を行うことに変更しました。結果として正社員求人開拓の目標値965人に対し、390人（達成率40.4%）と目標を大きく下回り、正社員求人確保の目標全体4,826人に対し4,213人（達成率87.3%）に止まりました。

また、正社員就職件数についても、マッチング求人の情報提供の目標値1,680件と定め、積極的に取り組みましたが、929件（55.3%）の実

績となり、情報提供が進まないことも要因となり、正社員就職件数の目標値 1,280 件に対し 1,220 件 (95.3%) に留まりました。

今後は、求人充足会議で決定する求人開拓の方向性に沿った事業所で、かつ、過去に正社員求人を募集した事業所を中心に求人開拓を行うこととし、より多くの正社員求人を受理し、その求人を積極的にマッチングさせることで、正社員就職件数の増加に繋げるようにいたします。

## 2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	ハローワークの紹介により正規雇用に結び付いたフリーター等の件数	正社員就職件数			
実績	2,477	2,290	521	96.5%	95.3%	33.9%	60	117	319	1,220			
目標	2,628	2,582	605	90.0%	90.0%	30.1%	38	122	312	1,280			
目標達成率	94.3%	88.7%	86.1%	107.2%	105.9%	112.6%	157.9%	95.9%	102.2%	95.3%			
(参考)過去3年度平均	2,773	2,611	595	-	-	30.1%	-	-	-	-			

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率



# ハローワーク須賀川 就職支援業務報告（平成 27 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

主要指標の就職件数、充足件数の目標達成を最重要と考え、求人者・求職者双方のニーズに合った充足・就職支援を図るためには、精度の高いマッチングが不可欠であることから、採用可能性が高まるような支援を意識した職業相談・職業紹介を実施しました。この結果、紹介成功率は 33.3% となり目標（29.9%）を上回りました。また、平成 27 年 5 月からは、早期充足促進を図るため職業相談部門及び求人・専門援助部門が連携した求人充足会議を原則、毎日開催し、戦略的な充足対策を実施した結果、事業所理解と所内連携が深まり、充足件数の目標達成率が 100% となりました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求職者・求人者ともに、「リーフレット等分かりやすい陳列」の満足度が 60% 未満であったため、利用者を意識した展示方法に見直しを行い、求職者・職業訓練、求人・助成金、その他等種類毎に見出しを付けた上でラックに分け、随時、管理者が展示状態を確認することとしました。また、職業相談までの待ち時間が長いとの感想が多数あったため、混雑状況により求人担当者も職業相談を実施する体制にし、所内連携の強化を図りました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

正社員就職数については、大きく目標値を下回る結果となりました。今後、求職者数の減少が見込まれるため、より一層、求職者ニーズを意識した求人の確保が必要となります。このため、当所管内の主要産業であり、求職者ニーズも高い製造業の求人開拓における訪問比率を 45% 以上とし、更に正社員求人の確保と正社員求人への転換の呼びかけを強化することとします。また、介護等人手不足職種の職場見学会・ミニ面接会（同時開催）は仕事理解とマッチングを進めるうえで効果的であったため、今年度も引き続き、年間 6 回以上を目標に開催いたします。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成 27 年度の須賀川市と須賀川商工会議所との共同事業により開催した、就職面接会は正社員にターゲットを絞り実施した結果、若年層を中心とした求人が多く、年齢面でマッチングができず参加事業所 23 社に対し 4 名の就職と低調な結果となりました。同面接会は、今年度も予定されており、更に須賀川市・須賀川商工会議所と連携し、求職者ニーズ等を考慮のうえ効果的な面接会の開催を検討します。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価  
 ※

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	①生活保護 受給者等の 就職件数	②障害者の 就職者数	④ハローワー クの職業紹介 により、正規 雇用に結びつ いたフリーター 等の件数	③正社員就 職件数			
実績	2,681	2,330	756	100.0%	97.1%	33.3%	77	92	358	1,334			
目標	2,852	2,338	592	90.0%	90.0%	29.9%	38	80	390	1,505			
目標達成率	94.0%	99.7%	127.7%	111.1%	107.9%	111.4%	202.6%	115.0%	91.8%	88.6%			
(参考)過去3年度平均	2,981	2,511	638	-	-	29.9%	-	-	-	-			

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク相双 就職支援業務報告（平成 27 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、有効求人倍率が2倍を超える人手不足の状況に対応するために、ミニ面接会の実施を重点項目として位置づけ、個別求人事業所ごとに取り組を行いました。ミニ面接会は24回開催（平成26年度は17回）し、就職者が18人（平成26年度は7人）と、大きな効果が見られました。また、特に人手不足となっている看護、介護分野については、看護師、介護職の合同就職面接会（年間4回、地元自治体との共催）や職場見学会（年間2回）を開催し、地元自治体からは、今後も共催を要望されています。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者及び新規求人減少により紹介件数、就職件数が減少してきたことから、求人検索機から出力される公開求人票に「応募にあたっては紹介状が必要であること」「希望の求人がなかった場合でも職業相談が可能であること」を印刷表示して、求人検索機利用者をできるだけ職業紹介・相談窓口へ誘導し、紹介件数の増加及びそれに伴う就職件数の増加を図りました。また、新たな求職者のハローワークへの誘導や良質求人の確保による就職促進のため、地元自治体の協力による回覧板形式の求人情報の提供（月1回）、管内企業への正社員求人要請文の送付等を行いました。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者担当制による求職者に対するきめ細かな就職支援とハローワークからの積極的な求人情報提供によるマッチングにより就職件数の増加を図るとともに、人手不足対策のため、既存の求職者による充足だけでなく、自治体等との連携により幅広く求人情報を提供し、管内の未登録求職者の誘導や管外に居住している求職者の管内への誘導を図ることとします。

### （4）その他業務運営についての分析等

求人数の増加を背景に、より就業条件の良い就職先を求める在職者や自己都合離職求職者が増加する状況となっていることから、事業所に対し、在職非正規社員の正社員への転換の促進を図る一方、求人については非正規雇用求人の正社員求人への切り替えや正社員求人条件の緩和などにより、当該求職者とのマッチングを図っていくことが必要となっています。



## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等就職 件数	障害者就職 件数	正規雇用フ リーター就 職件数	正社員就職 件数			
実績	2,378	2,623	566	98.0%	98.8%	48.3%	116	67	435	1,224			
目標	2,569	2,901	496	90.0%	90.0%	47.0%	77	68	279	1,336			
目標達成率	92.6%	90.4%	114.1%	108.9%	109.8%	102.8%	150.6%	98.5%	155.9%	91.6%			
(参考)過去3年度平均	2,696	3,014	456	-	-	47.0%	-	-	-	-			

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## ハローワーク二本松 就職支援業務報告（平成 27 年度）

### 1 所長による分析（業務運営の総括）

#### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、充足数、就職数を増やすために受理した求人の中から正社員求人提出事業所にミニ面接会を案内し、当所会議室で実施しています。平成 27 年度は、目標の 4 回に対し 12 回実施しました。各回とも 3～4 名の参加がありましたが、5 名の就職者に留まりました。なお、参加事業所からは当該企画について好評を得ており、平成 28 年度も継続実施し 12 回の開催を目標とします。求職者のニーズにあった参加求人者の選定及び窓口での積極的な周知と対象求人のさらなるサービスの強化が課題であると考えます。

#### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成 27 年度に実施したハローワーク利用者満足度調査の結果、求職者が 92.4%、求人者が 92.5%といずれも福島局平均を下回る結果となりました。この結果を踏まえ具体的に指摘のあった項目を中心に全職員に対して研修を実施し、それぞれの改善策を検討しました。平成 28 年度は、職員の来客者対応技術の向上やサービスの向上をめざし、全員に対してキャリアコンサルティング研修の実施や、毎月実施する職員研修に接遇についてのカリキュラムを組み継続的に実施します。

#### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

再就職支援セミナーは労働局主催のほか所独自の取組として「再就職セミナー」を 6 回、「ステップアップセミナー」を 5 回実施しましたが、ステップアップセミナーは年齢 35 歳未満と限定しており、毎回参加者が 3 名程度に留まりました。平成 28 年度は、2 種類のセミナーを統合し、年齢制限もなくし、一般求職者でセミナーの受講が必要と判断される求職者に対して積極的な受講勧奨を行い毎回 10 名程度で 12 回の実施を目標とし、早期就職支援のメニューとして定着させることとします。

#### （4）その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、建設業や運送業を中心とした復興・復旧求人の増加により有効求人倍率が 1.5 倍前後の高水準で推移したにも関わらず、常用の就職件数が 1,775 に対し進捗率 95.2%の 1,690 に留まりました。建設業や運送業への就職を希望しない求職者が多数存在するミスマッチが主な要因と分析しています。平成 28 年度は事業所訪問の回数を増やし、従来の件数のほか、製造業を中心に月 2 回 4 社を目指して事業所訪問を計画し、正社員の求人確保や求人要件の緩和等を重点的に実施することとします。

## 2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護者 の就職件数	障害者の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により正 規雇用に結 び付いたフリ ーター等の 件数				
実績	1,690	1,669	530	92.5%	92.4%	33.3%	66	65	418				
目標	1,775	1,756	530	90.0%	90.0%	32.3%	38	59	223				
目標達成率	95.2%	95.0%	100.0%	102.8%	102.7%	103.1%	173.7%	110.2%	187.4%				
(参考)過去3年度平均	1,909	1,774	509	-	-	32.3%	-	-	-				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率